

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ① 基礎的基本的な学力の定着と思考力の育成を目指した学習指導の改善
- ② 主体的に学習に取り組む意欲を育てる指導の充実

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 赤澤 三佳	校長	安西 栄美	教頭	板東 順子
	1年主任	山内 道明	教務主任	新田 佳世子
	2年主任	鎌田 如恵	研修主任	鎌田 如恵
	3年主任	山下 真弘		

校長

安西 栄美

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

職員会議・生徒指導委員会・学力向上検討委員会等で常に生徒の実態を話し合い、共通理解を図る。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○計算問題などの基礎学力が身についてきた。また、漢字の読み書きの力がついてきた。 ●学力の二極化があり、学力の低い生徒の基礎基本の徹底が課題である。	・基礎的基本的な知識や技能を確実に身につけることができる。 ・正しい言葉で文章を読んだり書いたりできる。 ・教師の説明や発表者の意見をしっかりと聞くことができる。 ・間違った問題を大切に、理解できるように繰り返し解く。	・必要に応じ各教科で小テストや確認問題を実施し、知識の定着を図る。 ・自主勉強として、テストやプリント、授業で間違ったところを中心にするよう丁寧に伝え、間違った問題を大切に、繰り返し理解できるまで解くように意識させる。 ・授業で前時の振り返りや本時の学習内容の確認を行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○タブレットを使って発表するにあたって、情報を取捨選択、前に出てはつきり発表することができる。 ●短い画像や動画に慣れ、長い文章を読みとり自分の意見や考えを書くことが苦手な生徒が見受けられる。	・資料やグラフを読み取り、変化や特徴が理解できる。 ・根拠を明らかにして自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることができる。 ・タブレットを用いて必要な情報を選択し、プレゼンにまとめ、級友に紹介することができる。	・授業やテスト、または宿題で資料やグラフの読み取り問題を増やす。 ・ペア学習やグループ学習で生徒の発言や活動の時間を確保するとともに、様々な考えを引き出したり、思考を深める発問や授業構成を工夫する。 ・タブレットを用いて、情報を取捨選択できるように工夫させる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○チャイム着席を守り、授業をまじめに受け、授業規律が身についてきている。 ●授業の忘れ物、宿題の未提出がある生徒がいる。 ●読書の習慣がついている生徒とついていない生徒で差が大きい。	・不要な私語が飛び交うことなく、各教科とも授業に集中できている。 ・忘れ物がなく、宿題を確実に提出できる。 ・計画的な家庭学習の習慣が身についている。	・指導内容を工夫し、一人一人が授業に主体的に取り組めるような活動を入れる。 ・忘れ物チェックや宿題、提出物のチェックを確実に行う。 ・まとまった時間読書ができるよう、学級で図書館に出向き読書時間を確保したり、お勧めの本を紹介し合ったりする。			

令和7年度 学力向上ロードマップ

